



様式第3号 (第8条関係)

事業者達成状況報告書

鳥取県知事 平井 伸治 様

2019年 7月 18日

届出者 住所 鳥取県西伯郡南部町倭256

氏名 鳥取グリー株式会社
代表取締役社長 白井 選
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項 (第9条第3項) の規定により次のとおり提出します。

住所 (主たる事業所の所在地)	鳥取県西伯郡南部町倭256									
氏名 (名称及び代表者の氏名)	鳥取グリー株式会社 代表取締役社長 白井 選									
主たる業種	09 食品製造業									
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者									
計画期間	2016年 4月 / ~ 2019年 3月 /									
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度 (実績) (2015) 年度 (二酸化炭素換算)	目標年度 (計画) (2018) 年度 (二酸化炭素換算)	増減率	報告年度 (実績) (2018) 年度 (二酸化炭素換算)	増減率				
	排出量 (1)	4,072.8 t	4,073.0 t	0.0 %	3,829.0 t	△ 6.0 %				
	実績に対する自己評価	排出絶対量は減少したが、これは生産高が基準年度に比べ減少し設備稼働も減少したため。ただし排出量は生産高に比例して減少している訳ではなく、この固定部分の削減が課題。								
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度 (実績)	目標年度 (計画)	増減率	報告年度 (実績)	増減率			
		二酸化炭素換算生産高	49 tco2/億円	47 tco2/億円	△ 3.1 %	48 tco2/億円	△ 0.6 %			
		二酸化炭素換算			%		%			
		二酸化炭素換算			%		%			
実績に対する自己評価	基準年度に比べ生産高が5%以上減少し、排出量削減努力を続けるも原単位は0.6%増加。しかし予定したCO2削減対策は概ね実行し、減産による原単位増加の抑制に貢献している。									
寄与的取組	取組区分	目標年度 (計画)		報告年度 (実績)		二酸化炭素換算の削減量				
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量					
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(発電量)	kWh	t	(発電量)	kWh	t			
		(熱供給量)	GJ	t	(熱供給量)	GJ	t			
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すもの購入	(購入量)		t			t			
		森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すもの購入		t			t			
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すもの購入	(購入量)		t	(購入量)	GJ	t			
削減量等合計 (2)			0 t			t				
差引排出量 (1) - (2)	基準年度 (実績)	4,072.8 t	目標年度 (計画)	4,073.0 t	増減率 (計画)	0.0 %	報告年度 (実績)	3,829.0 t	増減率 (実績)	△ 6.0 %
推進体制	CO2排出量削減は主に環境ISO推進委員会で取組む。環境ISO推進委員会は社長を委員長とし、各所属長を推進委員としている。また、各環境行動計画に推進担当者を任命し個別に進捗管理をしている。全体の進捗管理をはじめ、順法評価・エネルギー排出量の把握はISO14001事務局が行い、毎月実施される環境ISO推進委員会にて評価、改善策等を検討している。									
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容							
	2016年度	食品製造	熱カレー生産時メルトー使用を中止し、年間23 t/年のCO2を削減した。							
	2016年度	食品仕上	IJP更新により、年間23 t/年のCO2を削減した。							
	2016年度	菓子製造	エアコン2台更新により、年間3 t/年のCO2を削減した。							
	2017年度	食品製造	攪拌機高効率化と煮沸室エア一量削減により、年間11 t/年のCO2を削減した。							
	2017年度	菓子製造	二重管保温により、年間19 t/年のCO2を削減した。							

	2017年度	間接工程	クーリングタワー運転台数削減、照明LED化更新、配管保温等により年間53 t/年のCO2を削減した。
	2018年度	食品工程	設備高効率化、圧縮エア一使用量削減等により年間25 t/年のCO2を削減した。
	2018年度	菓子工程	設備高効率化、不要設備廃止等により年間78 t/年のCO2を削減した。
	2018年度	間接工程	外灯LED化更新、配管保温等により年間8 t/年のCO2を削減した。
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	鳥取県アイドリングストップ推進事業者として、従業員の通勤その他車両運転時のアイドリングストップを推進すると共に、関連運送業者の待機時間アイドリングストップ奨励等の活動を行っている。		
特記事項	特にありません。		

- 注1 該当する口には、レ印を記入してください。
- 2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。
- 3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。
- 4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。
- 5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
- 6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数値、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。
- 7 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用などを記入してください。